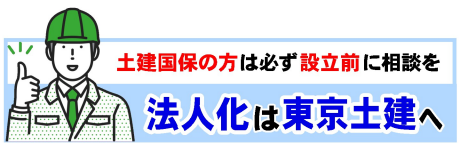
2026年1月1日付組織数
2,513名（前月比-59名）
2025年1月1日付組織数2,652名



小平東村山

発　行　所
東京土建一般労働組合
小 平 東 村 山 支 部
小平市仲町３８１番地
電　話　042-342-2846
ＦＡＸ　042-342-2848
発行人　染矢　憲広
ホームページ
https://www.dokenkodahiga.jp

謹賀新年

昨年を振り返って　新年の挨拶

執行委員長
井上　清一

小平東村山支部の組合員の皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年も、春・秋の「仲間づくり月間」をはじめ、さまざまな組合活動やイベントに、分会役員さんを中心に多くの組合員の皆さんに参加・協力をいただき、本当にありがとうございました。

昨年の仲間づくりの特徴として、秋に取り組んだ「目指せ横綱！綱取物語」で訪問数の目標を掲げ、組合員さんへの訪問行動が飛躍的に前進したことが挙げられます。また、中間決起集会は、立川立飛でバーベキューを行い、新たな組合員さんの参加が増えて、対話が進み、楽しい一日を過ごしました。その結果、分会レク等への後継者世代や組合員さんの参加、協力が増えてきました。そして、目標達成をすることができました。

また「10分間群会議」についても、多くの群が取り組みました。実施前は否定的だった群でも、行ってみると今まで集金に使われていた時間が、情勢や組合の行事などについて「伝える群会議、対話をする群会議」に変わり、時間を短縮しつつ組合員さんの会話が増えました。毎年取り組んでいる国保への予算要求ハガキも、昨年より多く組合員の皆さんに書いてもらうことができました。まだ取り組んでいない群は、ぜひ新しい年に挑戦してみましょう。

そして今年は、新支部になってから10周年になります。新支部結成時から、分会の役員さんや組合員さんと共に、支部役員・書記局も頑張ってきて、先進的な大変良い支部に成長してきたと思っています。10周年に合わせて、レセプションなどの行事も検討しており、皆さんと共に祝っていきたいと思っています。この先も、支部一丸となって頑張っていきましょう。

最後に、今年も仲間づくりをはじめ、色々なところで参加・協力をお願いしていくと思いますが、よろしくお願いいたします。健康に気を付けながら、今年一年も頑張っていきましょう。

担い手3法

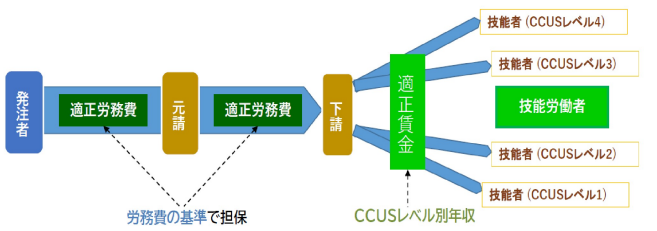
労務費の基準を国交省が公表

根拠ある見積り作成を

すべての建設業者が対応必須

見積り・契約の新ルールとは

国交省は、12月12日の第三次担い手3法の完全施行にあわせ、初弾として13職種99工種の「労務費の基準」を都道府県別に公表しました。この労務費の基準は公共・民間工事を問わず、受発注者間、元下間、下請間すべての段階において適用され、基準を著しく下回る見積もりや契約が禁止されます。賃金の原資である労務費を確保し、末端の技能者にCCUSレベルに応じた適正賃金を行き渡らせることが狙いです（図1）。



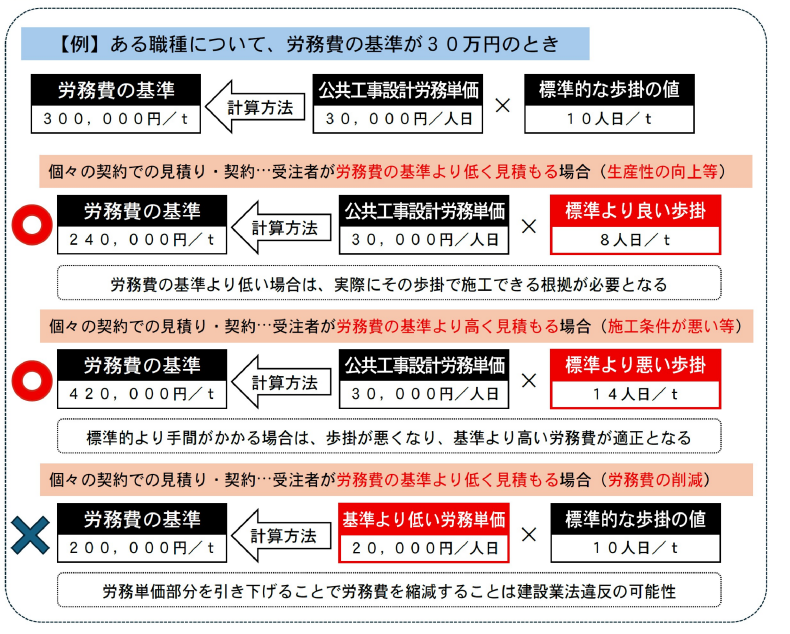
■図1：労務費の基準による賃金確保のイメージ
※CCUSレベル別年収については支払いを義務付けるものではない

労務費の基準は『公共工事設計労務単価×歩掛』で計算し、工種ごとの標準的な規格・仕様による単位施工量あたりの労務費を示したものです（図2）。個々の契約にあたっては、現場状況と作業内容を踏まえ、契約当事者間で適切な歩掛の使用や必要な補正を行って労務費を算出していくことになります。例えば、受注者が機械導入等により生産性を向上させ歩掛を改善させた場合は、基準より低い労務費での見積り・契約が可能となります。また、施工条件が悪い場合などは歩掛も悪くなることが想定されるため、基準より高い労務費での見積り・契約が適正となります。いずれの場合も、あくまで歩掛での調整であり、労務単価部分を引き下げることは原則認められていません（図3）。

■図2：東京都の型枠工事（建築）の労務費の基準

工事の種類			型枠工事			
標準的な規格・仕様			型枠			
	条件	（型枠の種類）	普通型枠合板			
		（構造・部位）	ラーメン構造・地上軸部			
		（階高）	階高3.5～4.0m程度			
労務費の基準値			5,291（円/m2）			
		内訳	職種	施工単位当たり歩掛（人・日/m2）	設計労務単価（円/人・日）	施工単位当たり歩掛×設計労務単価（円/m2）
			型わく工	0.15	31,700	4,755.00
			普通作業員	0.02	26,800	536.00
			合計			5,291.00

■図3：個別の見積り・契約における労務費算出の具体例



見積書を作成する際のルールについても変更され、受注者は見積書に労務費や必要経費等の内訳を記載することが努力義務化されます。一方、注文者はその見積書の内容を考慮するよう努める必要があります。今後、わたしたちが適正な単価・賃金を確保していくためには、根拠のある見積りの作成と取引先との交渉がより一層重要になってきます。

第三次担い手3法の実効性を確保していくためには、建設業界全体が足並みを揃えることが必要不可欠です。組合としても最重要課題と捉え、率先して取組を進めていきます。

用水路

ロンドンで暮らして気づかされたのは、この街には一つの「普通」が存在しないということだった。通勤電車では、スーツ姿の隣に民族衣装の人が立ち、様々な言語が入り混じる声が行き交う。違いは目立つが、誰もそれを特別視しない。そこでは「みんな違う」が前提になっていた。

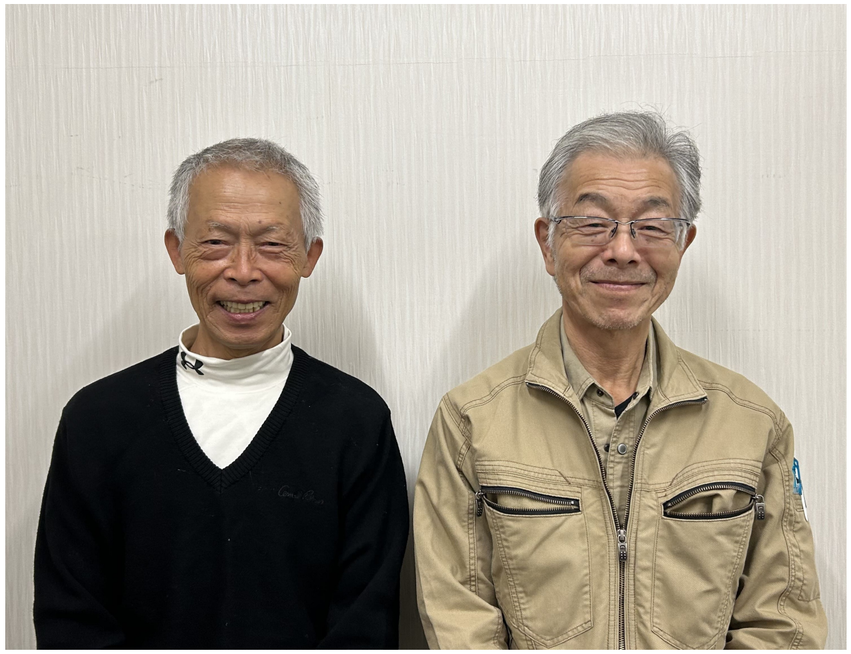
移民社会と聞くと、対立や差別を想像しがちだ。しかし日常はもっと淡々としている。分かり合うことを急がず、深入りもしない。宗教も食習慣も違うまま、同じ街で生活する。その距離感が、意外なほど心地よかった。

一方、日本では同じであることが安心につながり、周囲と足並みをそろえることが大切にされてきた。そのため、違いは時に説明や理解を求められやすく、無意識のうちに負担になる場面もある。悪気はなくとも、「普通」から外れることへの緊張感は残りやすい。そして、それが生きづらさにつながる場面も少なくない。

新しい年を迎え、多様化が進む今、ロンドンで見た「違いがあるのが当たり前」という感覚は、日本社会を見直すヒントになるのではないか。普通を一つに決めない社会は、思っている以上にしなやかだ。【書記・森元】

支部結成10年！ 機関紙100号！ 新春特別インタビュー

合併から10年 当時の両支部委員長に聞く



旧東村山支部・齊藤正裕さん(左)・旧小平支部・山内勝男さん(右)

旧小平、東村山の両支部が合併してから、本年で10年を迎えます。また、２０２５年６月には支部機関紙「小平東村山」も１００号を迎え、節目の年となりました。

この節目にあたり、新年号では、当時執行委員長を務めた山内勝男さん（小平）、齊藤正裕さん（東村山）のお二人に、お話を伺いました。

合併前の思い出

まず、お二人が口をそろえて挙げたのは「土建まつり」。組合員、市民、市長、議員など多くの来場があり、皆で力を合わせて盛り上げたことが強く印象に残っていると語ります。小平の祭りには、東村山から黒焼きそばの出店もあり、互いに刺激し合いながら取り組んでいました。

東村山では北山分会の群会議の雰囲気も特徴的でした。加入対象者や若手とまず“飲む”。とにかく飲みながら輪を広げ、楽しい場をつくる、そんなスタイルを齊藤さんは懐かしそうに話してくれました。

山内さんは23歳から青年部に参加し、その後定年まで役員として活動。地区労役員も務め、他団体・自治体・議員への組合アピールにも力を入れてきました。当時、お酒の場を通じて交流を広げていた山内さんの姿も印象的でした。

合併に向かって

本部から合併の話が持ち上がった当時、小平では支部会館建て替え案もあったため、課題は合併だけではありませんでした。小平１８００人、東村山１３００人の組合人員で、両支部とも単独でも維持可能だったことから、互いに納得するまでに時間を要したといいます。その背景には、地域ごとの事情や組織文化の違いもあり、丁寧な調整が必要でした。

特に東村山では「小平に吸収されるのでは」という懸念が根強く、説得は容易ではありませんでした。齊藤さんは、合併後の新しい環境で、自身や組合員たちが委縮してしまわないかという不安もあったそうです。委員長を５年務め、交代を考えていた時期でしたが、責任ある立場として合併までの残り１年を続投する決意をしました。現在はけやきの会会長として執行委員会に出席し、10年経った今も東村山の役員たちを気にかけています。

山内さんは、前任の山岸委員長の時から合併の話を知っており、書記長・本部委員として本部の意向にも触れながら課題と向き合ってきました。現場と本部、双方の立場を意識しながら調整にあたったといいます。「もっと早く言ってくれれば」「会館はどうなるのか」など多くの意見が寄せられる中、最後は“組織強化のための合併”として理解を得るよう努めたといいます。

こうした不安や意見があったにもかかわらず、両支部に共通していたのは、「同じ東京土建の仲間として力を合わせるべきだ」という思いでした。この思いを土台に、丁寧な話し合いを重ねたことで、最終的に合併という大きな決断へと、踏み出すことができました。

「小平東村山」第１号
コロナの影響による休刊なども経て、
2025年6月に100号を迎えた。

合併後の歩み

合併後、お二人は新委員長を推薦し、自らは副執行委員などとして新体制を支える立場にまわりました。役員定年後も引き続き組合や仲間のために活動しており、心強い存在として支部としても大きな力となっています。

これからの組合へ

山内さんは「青年部を中心に自分たちの要求実現へ積極的に動いていた時代だった」と振り返ります。組合費は“自分たちではできないことを代わりに進めてもらうための費用”であり、書記局や職員に任せきりにするためのものではないことを理解してほしいと語ります。２５００人を超える現在の組織を強みとして、力を合わせてほしいとの思いを寄せ、組合員一人ひとりの主体的な関わりに期待を示しました。

齊藤さんは、いつの間にか若手が分会や会議に来なくなった現状を懸念します。「役員が退けば来るのかとも思ったが、それだけではない。参加しやすい学習会や様々なコミュニケーションの場を作るために、喜んで協力したい。もっと楽しみながら活動に関わってほしい」と、今後の取り組みに前向きな姿勢を語ります。

組合への思いを語るお二人

新年の抱負

山内さんは「これまで家族に十分時間を使えなかった。妻もよく付き合ってくれた。孫が大きくなったら家族総出で旅行に行きたい」と穏やかな笑顔で語ります。

齊藤さんは「仕事はほどほどにし、釣りやゴルフで交友関係を広げたい」とのこと。今期でけやきの会会長を退くため、「今度は連れて行ってもらって楽しみたい」と晴れやかな表情で話してくれました。

おわりに

お忙しい中、新年号へのご協力ありがとうございました。皆さんは、どのような一年にしたいでしょうか。私は“健康第一”。健康診断のチェックを少しでも減らしたいと思っています。皆さんの健康を心より願います。【聞き手／文・染矢憲広教宣部長】

東村山支部機関紙「けんせつ東村山」・最後の新年号3面より

小平支部機関紙「こだいら」・最後の新年号3面より

けやきの会
笑顔あふれる五浦温泉一泊の旅
過去最多42名が参加

11月28・29日、茨城県五浦温泉へ、けやきの会秋の一泊旅行を開催しました。今回は、イベント初参加者7名を含む過去最多の42名が参加。久しぶりの再会に笑顔が広がり、移動中から和やかな雰囲気に包まれた2日間となりました。

シニアの旅行は、なぜか心安らぐものがあります。ルネ小平で1年ぶりに元気な皆様に会えて、とても嬉しい気持ちになりました。今回は、美術の里五浦温泉の旅！レッツゴー！▼水戸納豆なっとくファクトリーの見学、何でここに寄ることになったのかな？作る様子を見るわけでもなく、売店で納豆が買えるわけでもなく…帰る日なら買えたのに…残念。▼水戸ドライブイン、昼食、釜めし中心に副菜！こんなに沢山食べれないよーと皆で言っていたけれど、おいしくペロリと食べていました、完食。▼「偕楽園」の散歩！これは素晴らしく湖の回りの鳥、木々、空気、風、心洗われました。▼宿に30分遅れ、シニアの旅は遅れることはあたりまえだね。宿はエレベーター無く、驚き、女性の方々はヨタヨタ、お部屋まで階段大変そうでした。お風呂まで遠い食事処までも遠い！でも夕食は、とても美味しくすべてペロリ、シニアの旅行食事いいネ。温泉も素晴らしかったです。朝も5時半前に露天風呂に行き、すばらしい1日が始まりです。▼皆と修学旅行のように夜中までしゃべり倒し、朝早くから大騒ぎ！朝食も沢山食べて、日本最大級、竜神大吊橋に出発！バンジージャンプする若い人々、見ているだけで心臓止まりそう！景色がきれいで気持ちいい所でした。那珂湊市場、美味しそうなものばかりで我慢するのが大変でした。

また、皆様と旅行したいなあと思いながら家に到着しました。【野火止分会・千葉隆子】

夜の宴会も大盛り上がり←

教育宣伝部
力を合わせて新聞作成
教宣小学校を開催

新聞作成に取り組む皆さん→

11月30日(日)に、分会新聞新年号の発行を目指して新聞作成に取り組む、「教宣小学校」が開催されました。今回は、8分会とけやきの会合わせて13名の参加でした。お題は、新年の挨拶、分会レク、仲間づくり月間（春・秋）、住宅デー、1年の間の総括、群会議について、など身近な話題です。作成方法はPC又は手書きでした。決定事項として、定期的に発行できる分会はお題は問わず、発行が難しい分会はいくつかお題を出してそれを記事にする、1面のみの新聞でも可となっていました。

教宣部長の挨拶から始まり今回は、試みとして、午前中3時間での例年より短い時間での開催となりましたが、なかなか皆さんアイディアや記事を集めて来て、スムーズに取り組めました。他の分会を覗き込みながら進めました。中間報告・相談をする中では、よその分会新聞は意見が出るのですが、自分の新聞がなかなか思い浮かばないという事もありました。しかし、何はともあれみなさん分会新聞の作成が進んだようで、それだけでも成果がありました。

これからもみなさんの意見を集約して、広告塔になっていけたらと思います。【小川分会・竹野幸一】

求人情報

●給排水衛生設備工事及び空調換気設備工事
(有)髙萩パイピングサービス
TEL０４２-３９５-８１１９
(受付時間：９時～16時)
条件等：普通自動車運転免許

●外壁洗浄
(株)美掃
TEL０９０-８８７８-１０６７
条件等：普通自動車運転免許

詳しくはこちら！

新春特別企画

クロスワードに正解された方の中から10名に1,000円分のクオカードを進呈します。正解者多数の場合は抽選となります。

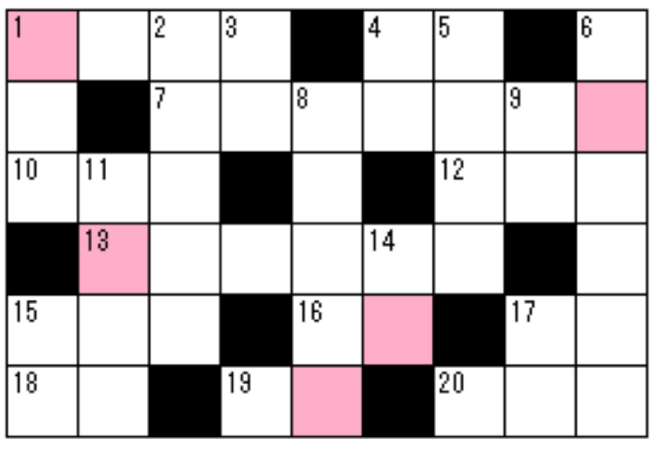
機関紙づくりの励みになりますので、皆さま奮ってご応募ください。

【応募方法】ハガキにクロスワードの解答・住所・氏名・職種と機関紙へのご意見・ご要望をご記入の上お申し込みください。
〆切：１月３０日（金）消印有効
【宛先】支部事務所　教育宣伝部まで

ヨコのカギ

1. 茶の湯に由来するコース料理 ●●●●料理
4. 体力づくりや健康維持のための施設
7. 市場の自由化を進めた織田信長の政策
10. 世界最大の湖　●●●海
12. 夏を英語で？
13. 中央官庁が集まる東京の地名
15. 液体をこぼさず注ぐための道具
16. 祈りの対象、または文字を書く素材
17. サッカーの王様といえば？
18. 変化の途中にある状態。「●●期」とも
19. 成長につれて名が変わる出世魚
20. 次々とつながって起こること

並び替えが難しいかも・・・　ヒント⇒



ピンク枠の文字を並べ替えると・・・

答え □□□□□

タテのカギ

1. 企業価値や景気動向を映す指標
2. 心や体のケアを行う専門職
3. 秋を代表する花。日本の国章にも用いられる
4. 地域が自らを治めること。
5. 寿司屋で「醤油」といえば？
6. 「愛と奉仕」で知られる修道女
8. 根拠のない非難。●●●●●をつける
9. 最近は街中にも出没？ニュースで話題の野生動物といえば？
11. 才能を見いだし、仲間に引き入れること
14. 短い命で夏の訪れを告げる昆虫
15. 不要なものを取り除く工程
17. ●●は剣よりも強し